

様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	手術前日	手術当日	術後1日目
目標	心身ともに安定した状態で検査・治療が受けられる 術前ケア・準備の必要性が理解でき参加・実践できる 術後合併症予防のための計画された方法を実践できる		生活習慣の問題点を確認できる	術後合併症(出血・末梢循環障害・ イレウス・感染)をおこさない 心臓リハビリテーションプログラムに 沿ってリハビリがおこなえる
検査			 手術後レントゲン 撮影を行います	 朝採血を行います
食事	特に制限はありません		夕食後より絶食、午後9時以降 は絶食になります	
	朝食は 自宅で	 	  	
処置・観察	体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を測ります	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を 測ります	早期・手術前に体温・脈拍・ 血圧・酸素飽和度を測ります  午前7時頃に浣腸を行います  <b>午前・午後 _____ 時から</b> 手術が始まります (手術より連絡があります)  心電図モニターを装着します	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を 測ります  毎日体重測定をします 毎日創部の状態を観察します  酸素投与を中止します 尿の管を抜きます  不整脈や変化がなければ 心電図モニターを外します
	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)			
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡し ください	 就寝前に眠剤・下剤を 服用します	 手術後栄養や血圧を調整するための点滴を持続的に 行います 抗生剤の点滴を朝(10時)・夜(22時)に行います  術後の痛み止めの追加投与をご自分で行えます P.C.A法(自己管理鎮痛法)といい、痛みが強くなればポンプを ご自分で押してください (ご自分でポンプを押すのが難しい時は、看護師かご家族に 依頼してください)	
行動	 制限はありません	 制限はありません	 浣腸後、排便を済ませた らシャワー浴をし  手術着に着替えます  入れ歯・時計・眼鏡・アクセサ リ-は外してください 歩いて手術室へ行きます (手術部位の除毛は手術室で 行います) <b>【手術後】</b>  手術後から翌朝まで 床上安静になります  酸素投与を開始します  尿の管が入っています	 医師の許可が出るまでは 看護師が清拭します   心臓リハビリテーションを 開始します 午前：足下げ足踏み 室内歩行 午後：廊下歩行(約50m)  検査は車椅子で行きます
	 シャワー・洗髪を してください 	 おへそをきれいにします そのあとシャワー・洗髪を してください 		
説明	 医師より説明 ・入院後の検査や 治療計画について	 医師の回診があります	 医師の回診があります	
	 看護師より説明 ・入院生活について ・治療前後の処置・ 検査や安静について ・生活習慣について ・ビデオ勉強会について ・心臓リハビリテー ションについて	 手術室看護師より説明 ・手術について   麻酔科医師より説明 ・麻酔について	 看護師より説明 術後5日目に、1回目の生活管理チェックを行います   術後の経過や病状説明は適宜行います 希望があれば医師もしくは看護師にお知らせください 面談時間を調整します	
	 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について			

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日 ~ 月 日	月 日 ~	月 日
経過	術後2~4日目		術後5日目以降
目標	術後合併症（出血・末梢循環障害・イレウス・感染）をおこさない 心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリがおこなえる		術後合併症（イレウス・感染）をおこさない 生活習慣を改善する必要性を認識し、具体的な改善目標を設定できる 退院後の注意点が述べられる
検査	   手術後の経過をみるため、必要に応じてレントゲンやCT撮影・採血を行います		
食事	朝飲水テストを開始します（特に制限はありません） 飲水しても吐き気・お腹のはりや腹痛などの消化器症状がなければ、食事を開始します 消化のよい流動食から開始し、徐々に食事形態を変更していきます 流動食→3分粥（心臓病食）→5分粥（心臓病食）→全粥（心臓病食）		
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります 初回のシャワー浴は前後で脈拍・血圧を測ります  リハビリ前後でも脈拍・血圧を測ります  毎日創部の状態を観察します	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります 初回の自力シャワー浴は前後で脈拍・血圧を測ります  リハビリ前後でも脈拍・血圧を測ります  毎日創部の状態を観察します	 毎日、朝・夕方にナースステーションに設置してある血圧測定器で血圧を測ります  体重は毎朝同じ時間に測定します（測定値は設置している用紙に記入してください） 初回の入浴は前後で脈拍・血圧を測ります 状態が安定していれば、リハビリ前後での脈拍・血圧測定は終了します  手術後1週間で創部の抜糸（抜こう）をします 抜糸後、創の状態が問題なければ創部の観察は終了します 退院時にリストバンドを外します
点滴・内服	 常用薬の服用を再開します また毎食後緩下剤の服用を開始します（看護師が配薬します） ※指示があるまでは服用せずにお待ちください   術後3日目で抗生剤の点滴も終了します ※発熱があったり、血液検査上炎症反応が上昇していれば抗生剤の点滴を続行する可能性があります  術後4日目で持続点滴は終了します ※食事開始後消化器症状が出現するようであれば、点滴を継続する可能性があります	 薬剤師からの薬剤指導後、常用薬は1日分自己管理にします  看護師が毎朝1日分を配薬します	 内服薬は自己管理にします
行動	 状態が安定し、医師の許可が出たら創部・点滴挿入部の保護をしてシャワー浴をします  ※初回のシャワー浴で問題なければ次回より1人でシャワー浴をします   心臓リハビリテーションを継続します 午前・午後にわけ歩行訓練をします  検査は車椅子で行きます	 隔日シャワー浴をします  状態が安定し医師の許可が出たらシャワー可能となります ※初回は見守り下でのシャワーとなります（初回のシャワーで問題なければ次回より1人でシャワーをします）  毎日の心臓リハビリテーション目標をご自分で立て、それにあわせてリハビリを行います  歩行訓練が進み問題がなければ検査は歩いて行きます	 特に制限はありません
説明	 医師の回診があります  看護師より説明 術後12日目と15日目に最終生活管理チェックを行います ※疾患についてのパンフレットをしっかり読んでください 退院に向け日常生活上の注意点や生活習慣指導を行います  薬剤師より説明 ・薬剤指導 栄養士より指導 ・食事療法について ・個別及び集団指導		 医師の回診があります   看護師より説明 生活習慣の改善目標を確認します

